

## 第2節 目指す将来の姿

### 1. まちづくりの基本的な考え方

本町は平成18(2006)年に田島町・館岩村・伊南村・南郷村が合併し、誕生しました。

その際には、「町民生活のあるべき姿」として、『南会津町民憲章』がつけられました。

また、合併の際につくられた『新町まちづくり計画』では3つのまちづくりの基本理念が定められ、この基本理念に基づいて様々な取組が進められてきました。



## 南会津町民憲章

平成18年7月1日制定

わたくしたちは、美しい自然と古い歴史にめぐまれ、文化の薫り豊かな南会津町民であることに自覚と誇りをもちます。

わたくしたちは、この町をさらに住みよく豊かにするため、ひとりひとりの望ましい生活と町のめざす道を明らかにします。

- 1 自然を愛し、美しい町をつくりましょう
- 1 心身を鍛え、健康な町をつくりましょう
- 1 楽しく働き、活力のある町をつくりましょう
- 1 たがいに助け合い、住みよい町をつくりましょう
- 1 きまりを守り、明るい町をつくりましょう
- 1 教養を高め、文化の町をつくりましょう

これらは本町のまちづくりの根底にあるものです。『南会津町民憲章』に込められた想いや『新町まちづくり計画』での理念を根底に、時代の潮流に合わせたまちづくりを進めていきます。

## 『新町まちづくり計画』のまちづくりの理念

### ひとが“集まる”まち

地域資源を活用した産業の振興や就労の場の拡充による若者定着、また、地域間交流の促進による交流人口の増加を図り、ひとが“集まる”活力あるまちづくりを進めます。

### ひとを“育む”まち

まちづくりの原動力となるひとを“育む”まちとして、誰もが新しいことに挑戦する気運の醸成や、社会情勢の変化にも柔軟に対応できる“生きる力”を持った人材の育成を図ります。

### みんなが“輝く”まち

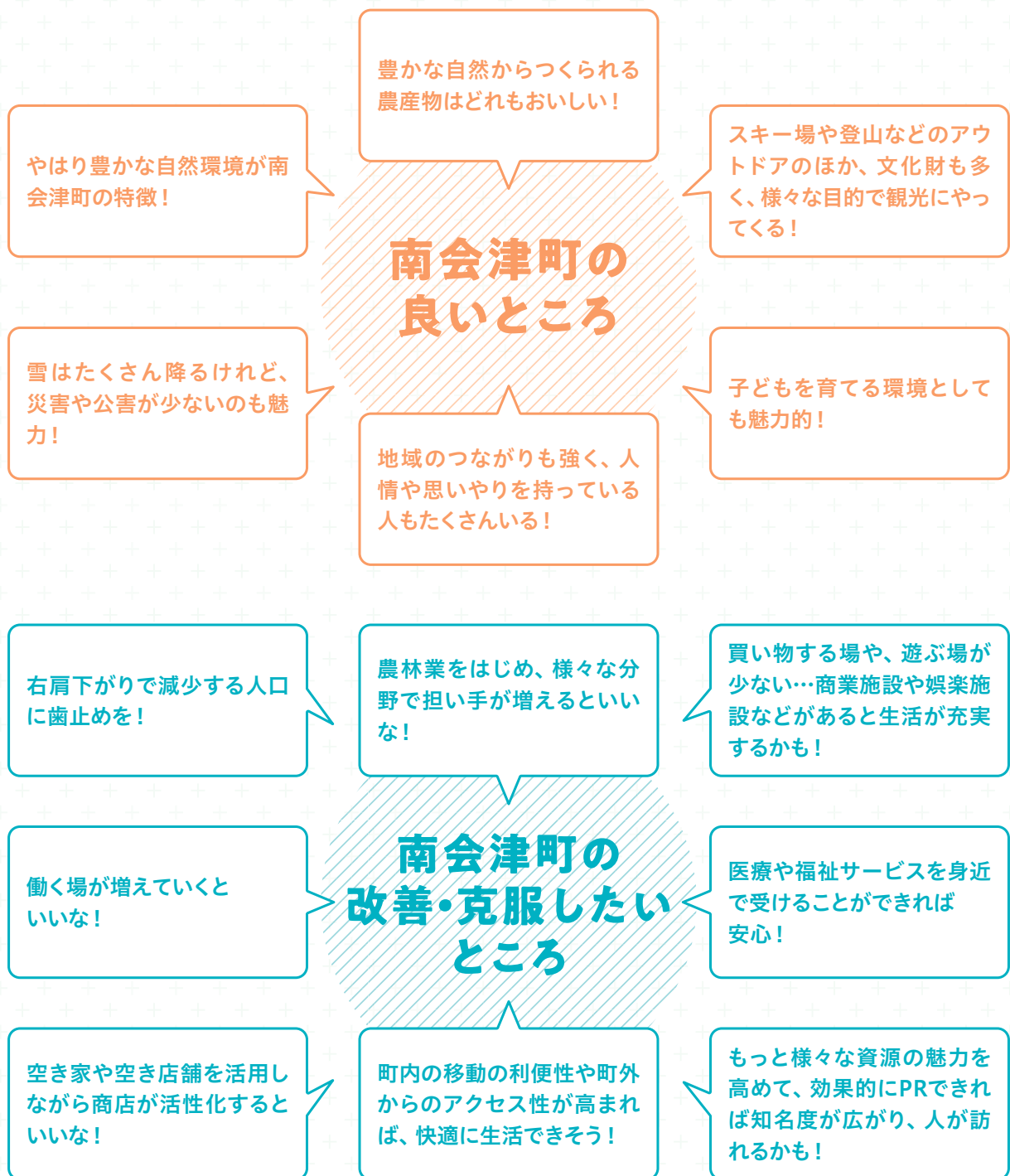
快適で豊かな生活空間の創造や、誰もが安全で安心して暮らすことのできる生活環境の形成を図りながら、自然環境と共存していくことで、住んでいる人が南会津町への愛着と誇りを持って笑顔で元気に生活できる、みんなが“輝く”まちづくりを進めます。

## 第2節 目指す将来の姿

### 2. 町民の想い

まちの将来像及び目標の柱の設定に当たり、町民の想いを把握するため、町民アンケートやワークショップを行いました。ワークショップでは町民アンケートを踏まえて本町の良いところ、改善・克服したいところをまとめ、そこから理想的な本町の未来の姿を導き出しました。

#### 南会津町の良いところ／改善・克服したいところ



みんなで考えた未来の姿

まち全体の  
未来のイメージ

心が安らぐ  
場所に！

空き家や空き地  
がないまち！

昔からの文化が  
根付くまち！

移住者、定住者  
が増えるまち！

楽しく  
暮らせるまち！

豊かな自然を  
フル活用！

若い人たちが  
増える！

にぎわいが  
あるまち！

持続可能な  
まち！



町民どうしの  
絆が生まれる  
まち！

町民も一緒に  
まちの宣伝を！

助け合い、  
支え合いが  
あるまち！

子どもの笑顔が  
輝くまち！

日本中から人が  
集まるまち！

雪を利活用し、  
雪と共存できる  
まち！

誰もが安心して  
暮らせるまち！

豊かな人間性を  
育めるまち！

地域産業が潤う  
まち！

多様な働き方が  
できるまち！

まちの良いところをみんなが  
知っている！

デジタルに対応  
したまち！

豊かな自然で  
日本一おいしい  
農作物づくり！

アクセス・  
移動がしやすい  
まち！

町民生活の  
未来のイメージ

産業・観光の  
未来のイメージ

## 第2節 目指す将来の姿

### 3. まちの将来像

将来像は、8年後のまちの理想の姿を描くものです。

次の8年は、豊かな自然の中で生まれ発展してきた歴史と伝統の中で、恵まれた地域資源とこれまで積み重ねてきた成果を十分にいかし、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを進めるために、将来像を次のように定めます。



本町は水稲、南郷トマト、会津田島アスパラガスなどの特産品をはじめとした農業や、製造業、観光・レジャー産業など、雄大な自然環境を背景に発展してきました。また、各集落の形成や、町民の生活もこの自然環境の中で培われてきました。

本町の自然環境は、これからも変わることなくまち発展の礎となります。

一方、少子高齢化の進行により、人とのつながりをこれまで以上に強め、広げていくことが重要となっています。そのような中で、これからも自然環境に寄り添ったまちづくりを進め、本町に関わる人々が幸せに笑顔で過ごすことができるまちを目指します。

また、誰もが生まれ育った地域で暮らし続ける時代ではなく、進学や就職を理由に町外へ転出される方もいます。そのような中、人と人とのつながりや絆を大切に、町民だけでなく、本町を離れた人も訪れた人もいつまでもつながり続けることで、ともにこれからを生きていく、「みんなのふるさと」となることを目指します。

## 4. まちづくりの展開

### 施策体系図

本町の将来像を実現するための5つの目標の柱を定め、これまでの取組を最大限にいかすまちづくりを町民と協働で進めます。なお、目標の柱は、町民と職員で構成された策定部会においてワークショップを行い設定しました。このほか、町が優先して取り組むべき施策として人口減少対策が挙げられますが、各分野すべてにかかる最重要課題として南会津町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、課題解決に取り組んでいます。

目標の柱	施策	横断的視点
<b>1</b> 豊かな自然ときれいな水が育む 元気に安心して過ごせるまちづくり P34	1 豊かな自然と生活環境を守る	
	2 健康づくり・医療の充実	
	3 高齢者や障がい者にやさしい福祉	
	4 結婚・子育て支援の充実	
<b>2</b> 魅力を高め活力を生み出す ヒト・モノ・カネの好循環化 P42	5 地域特性をいかした農林業の推進	
	6 商工業の再生	
	7 観光・地域間交流のさらなる推進	
	8 誰もが輝いて働くことができる就労環境	
<b>3</b> 快適で充実した生活を送れる魅力ある生活基盤づくり P50	9 良好な居住環境の整備	
	10 持続可能な上下水道	
	11 町民みんなにやさしい交通	
	12 災害・犯罪への備え	
<b>4</b> 世代を超えて「南会津愛」を育む “共育”のまちづくり P58	13 学ぶ力を育てる学校教育の推進	
	14 生涯を通した学びの場の提供	
	15 南会津の宝をまもり、つなぐ	
<b>5</b> 誰もが主役で誰もがつながる 未来を見据えた協働によるまちの運営 P64	16 デジタル化の推進	
	17 地域コミュニティの充実	
	18 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり	
	19 効率的・効果的な行財政運営	

## 第2節 目指す将来の姿

目標の柱

1

### 豊かな自然ときれいな水が育む 元気に安心して過ごせるまちづくり

南会津の豊かな自然や水を後世に引き継ぐため、全町をあげて環境保全に取り組む必要があります。

また、人口減少、少子高齢化が進む中で、町民一人ひとりが健康で、安全で安心して暮らすことが求められています。

そのため、本町の雄大な自然をいかし、守りながら、町民一人ひとりがいつまでも健康に安心して生活できる環境づくりを目指します。

施策

- |                   |               |
|-------------------|---------------|
| 1 豊かな自然と生活環境を守る   | 2 健康づくり・医療の充実 |
| 3 高齢者や障がい者にやさしい福祉 | 4 結婚・子育て支援の充実 |

目標の柱

2

### 魅力を高め活力を生み出す ヒト・モノ・カネの好循環化

人口減少にあるなかで、市場の縮小、人材不足などを背景に、本町の産業は悪循環に陥っています。産業の好循環に向けて、「儲け」を生み出し、地域が潤い、産業が活性化し、良い物を作り、全国へのPRにつなげていけるかが重要であり、人材の確保・育成から、PR・お金・地域に良い効果を波及させる必要があります。

また、本町には就労の場が少ないほか、商店街も店舗が少なく活気がない現状を打破していくことが必要です。そのためには、農林業や商工業の生産性を向上させ地域振興を促進し、町内の経済を循環させていくことが重要となります。

そのため、これまで本町で培われてきた地域特性をいかし、産業振興と雇用の創出を図り、「ヒト」「モノ」「カネ」の好循環を生み出すまちづくりを目指します。

施策

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 5 地域特性をいかした農林業の推進 | 6 商工業の再生             |
| 7 観光・地域間交流のさらなる推進 | 8 誰もが輝いて働くことができる就労環境 |

## 目標の柱

## 3

## 快適で充実した生活が送れる 魅力ある生活基盤づくり

持続可能なまちづくりに向けては、活気の維持・向上と快適な環境づくりが求められています。そのため、道路や公共交通網、水道などの生活基盤の整備・拡充、地域コミュニティの構築による防災・防犯などを通して、町民が楽しく快適に生活を送ることができる都市基盤づくりを目指します。

## 施策

9 良好な居住環境の整備

10 持続可能な上下水道

11 町民みんなにやさしい交通

12 災害・犯罪への備え

## 目標の柱

## 4

## 世代を超えて「南会津愛」を育む “共育”のまちづくり

地域の担い手の育成には郷土愛を育む必要があり、世代を超えてともに育つという意味で“共育”の考え方が重要となります。

また、教育は「人づくり」「地域づくり」が根幹になるため、学校だけでなく、家庭、地域などすべての町民がともに育ち、生涯学習を進めていくことが求められています。

そのため、町民一人ひとりが郷土の歴史や文化に触れ、人と人との交流を深めることで、ふるさとの良さや本町で暮らす喜びを知ることができるまちづくりを目指します。

## 施策

13 学ぶ力を育てる学校教育の推進

14 生涯を通した学びの場の提供

15 南会津の宝をまもり、つなぐ

## 目標の柱

## 5

## 誰もが主役で誰もがつながる 未来を見据えた協働によるまちの運営

本町では、人口減少や厳しい財政状況のなかで、老若男女問わず町民みんなが主役となり、様々な機会・方法で町内外とつながり、町民と行政が一体となって同じ未来を見据えて協働のまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

また、様々な場面でみられる「人手不足」は情報技術の進展（デジタル化）により補うことができ、多様な場面でこの技術を活用していくことが求められます。

そのため、時代の変化に誰一人取り残されることなく、町民一人ひとりがまちづくりの主役として輝くことができる行政運営を目指します。

## 施策

16 デジタル化の推進

17 地域コミュニティの充実

18 住民参加のまちづくり、行政と町民協働のまちづくり

19 効率的・効果的な行財政運営